

横浜市営地下鉄ブルーラインに 新型車両登場！



横浜市交通局では、市営地下鉄ブルーラインに新型車両「4000形」を導入します。

『海辺の先進的な都会感』をコンセプトに、凛とした佇まいとスピード感を感じさせるデザインとしました。機能面では、バリアフリーや快適性の向上に加え、防犯カメラの導入など安全性も向上しました。令和4年5月から運行を開始します。

1 主な特徴



図-1 エクステリアイメージ

(1) デザイン

■エクステリア（外観）

本市の各種調査から「横浜のイメージ」や「横浜らしさ」を抽出し、『海辺の先進的な都会感』をコンセプトとして位置づけ、凛とした佇まいとスピード感を感じさせるデザインとしています。

先頭車両は、従来のブルーラインの面影を残しつつ、全体的に平面や直線のエッジを際立たせた構成としています。様々な方向を向いた面が、見る角度とともに先頭形状の表情を変化させ、躍動感を感じさせるデザインとしています。

■インテリア

- 床面はブルーラインのシンボルカラーであるブルー、壁面をグレーとし、出入口には注意喚起色であるイエローを配置した室内カラーリングとしました。
- ゆずりあいシート部の床面を赤、壁面を白とすることで認識しやすいカラーリングとしました。



図-2 インテリアイメージ

(2) バリアフリーの向上

今までのバリアフリー機能（ドア開閉予告灯、車いす固定具等）に加え、車いす・ベビーカーエリアに2段手すりや床面表示を新たに設けております。

(3) 快適性の向上

- ・ 着座位置が分かりやすいバケットシートはそのままに、座席幅を従来の470mmから480mmに拡大するとともに、座面の材質を見直したことで座り心地を向上させております。
- ・ シート端部の袖仕切りを大型化し、座っているお客様にも立っているお客様にも快適に過ごしていただけるようにしました。

(4) 安全性の向上

- ・ セキュリティー向上を目的として車内防犯カメラを1両あたり3台設置しました。
- ・ 車両間の貫通扉はガラス製とし衝突防止対策として横浜をイメージしたパターンを施しました。
- ・ 安心してご利用いただくため、車内抗菌を実施しています。



図-3 ゆずりあいシート



図-4 車いす・ベビーカーエリア



図-5 車内防犯カメラ



図-6 貫通扉

※各図はイメージ

2 導入計画について

新型車両 4000 形は、令和 5 年度までに全 8 編成を導入します。第 1 編成目は令和 3 年 12 月に納車され試運転等をおこない、令和 4 年 5 月に営業運行を開始します。

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
製造着手	5 編成 運行開始	3 編成 運行開始

※現在ブルーラインで保有している車両のうち、最も古い形式である 3000A 形車両（28 年経過）に代わる車両として導入

お問合せ先	
交通局技術管理部	車両課長 山畑 勝 Tel 045- 671-3179